

令和七年度

京都女子大学大学院 文学研究科

博士前期課程 史学専攻 入学試験（秋季）

専門科目試験問題（日本史）

（I）（II）は全員解答しなさい。（III）（IV）は、どちらか

ひとつを選択して解答しなさい。

解答用紙のみ提出すること。

日本の歴史上、外国の国家制度を積極的に導入した時代と、比較的諸外国の影響を受けない時代があった。各時代において、いつどのような制度を取り入れ、あるいは受容しなかつたのか。また、なぜこのような違いが生じるのか。適宜時期を区切り、具体的な国名や制度名を挙げつつ通史的に論じてください。

【答案用紙】

受験番号

氏名
..

I

【二】次の歴史用語を、それぞれ七〇～一〇〇字で説明しなさい。

※解答は解答用紙に記すこと。

① 摂関政治

② 元寇

③ 寛政の改革

④ 下関条約

解答用紙

受験番号

1

4

III 次の史料を読んで後の問いに答えなさい。解答は解答用紙に記しなさい。

i 『日本書紀』卷二九天武天皇十四年（六八五）三月壬申 《廿七日》

詔。諸國每家作仏舍。乃置仏像。及經。以礼拜供養。

ii 『日本書紀』卷二九天武天皇十四年（六八五）五月庚戌 《五日》

射於南門。天皇幸于飛鳥寺以珍寶奉於仏而致敬。

問1 本文（太字）を読み下して、訳しなさい。

問2 i の「家」とは、誰の（何の）家と考えられるか。そう考える理由も記せ。

問3 ii の「南門」とはどこの（何の）南門か。

問4 ii の「飛鳥寺」は誰によつて創建されたか。また、造営に関わつた寺工・露盤工・瓦工・画工などはどこ（誰）から送られたか。

III 解答用紙

受験番号

名前

i 読み下し

訳

ii 読み下し

訳

問
2

問
3

問
4

- IV 次の史料は、1902年（明治35）に日本とある国との間で締結された協約の一部です。史料を読んで、後の各問いに答えなさい。
※ 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

第一条 両締約国ハ相互ニ清国及韓国ノ独立ヲ承認シタルヲ以テ、該二国孰レニ於テ

モ全然侵略的趨向ニ制セラルルコトナキヲ声明ス、然レトモ両締約国ノ特別ナル利益ニ鑑ミ、即チ其利益タル^(ア) 大不列顛國ニ取リテハ主トシテ清國ニ關シ、又日本國ニ取リテハ其清國ニ於テ有スル利益ニ加フルニ、韓國ニ於テ政治上並商業上及工業上各段ニ利益ヲ有スルヲ以テ、両締約国ハ若シ右等利益ニシテ^(イ) 別國ノ侵略的行動ニ由リ、若クハ^(ウ) 清國又ハ韓國ニ於テ両締約国孰レカ其臣民ノ生命及財産ヲ保護スル為メ干渉ヲ要スヘキ騒擾ノ發生ニ因リテ侵迫セラレタル場合ニハ、両締約国孰レモ該利益ヲ擁護スル為メ必要欠クヘカラサル措置ヲ執り得ヘキコトヲ承認ス

第二条 若シ日本國又ハ^(ア) 大不列顛國ノ一方カ上記各自ノ利益ヲ防護スル上ニ於テ^(イ) 別國ト戰端ヲ開クニ至リタル時ハ、他ノ一方ノ締約国ハ嚴正中立ヲ守リ併セテ其同盟国ニ對シテ他國カ交戦ニ加ハルヲ妨^{さまた}クルコトニ努ムヘシ

第三条 上記ノ場合ニ於テ若シ他ノ一国又ハ數國カ該同盟国ニ對シテ交戦ニ加ハル時ハ、他ノ締約国ハ來リテ援助ヲ与ヘ協同戰闘ニ當ルヘシ、講和モ亦該同盟国ト相互通意ノ上ニ於テ之ヲ為スヘシ

問1 下線（ア）の「大不列顛國」とは、どこの国のことですか。最も適当な国名を答えなさい。

問2 下線（イ）の「別國」とは、どこの国を指していますか。最も適当な国名を答えなさい。

問3 下線（ウ）は、過去に清国と朝鮮（後の韓国）で発生したような民衆反乱を指しています。

- (1) 1894年に朝鮮南部で起きた農民蜂起の名称を答えなさい。
- (2) 1900年に清国で起きた民衆反乱の名称を答えなさい。

問4 この協約は何と呼ばれていますか。最も適当な名称を答えなさい。

問5 この協約が締結された背景や、史料から読み取れる目的について説明しなさい。

問6 この協約は二度の改定の後、1923年に廃棄されました。1921年のワシントン会議で調印された、協約の破棄を宣言した条約は何ですか。条約の名称を答えなさい。

【IV 解答用紙】

問 1

問 2

問 3 (1)

(2)

問 4

問 5

問 6

受験番号		氏名	
------	--	----	--